

— 未経験降雨指数の算定結果 —

京都大学農学研究科 山地保全学教室 小杉賢一郎

使用した時間雨量データ

気象庁アメダス 耳納山<sup>1)</sup> (1976 6/1 ~ 2023 7/10)

欠測部は最寄りのアメダスもしくは水文水質データベース<sup>2)</sup>観測所データで補完

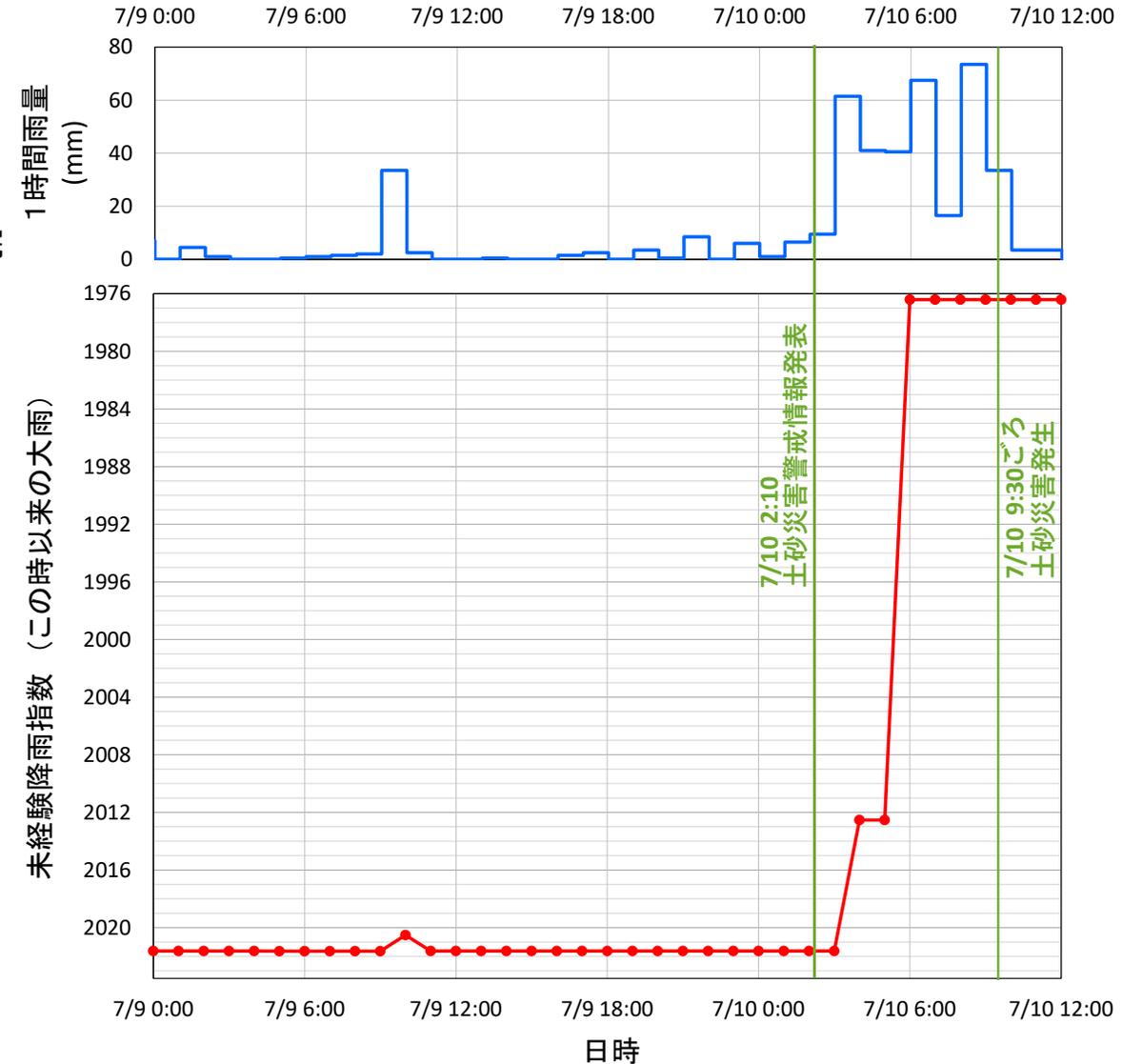
未経験降雨指数<sup>3)</sup>の算定結果<sup>4)</sup>

- ◆ 土砂災害警戒情報発表<sup>5)</sup>後の7/10 4:00~5:00には、2012年7月九州北部豪雨以来の約11年ぶりの大雨。
- ◆ 7/10 6:00には、過去の雨量データが存在する期間<sup>6)</sup>で経験したことの無い大雨となり、以降はこの状況が継続。7/10 9:30ごろに土砂災害が発生<sup>7)</sup>。

注釈

- 1) [https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php?prec\\_no=82&block\\_no=0791&year=&month=&day=&view=](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php?prec_no=82&block_no=0791&year=&month=&day=&view=)
- 2) <http://www1.river.go.jp/>
- 3) 各時刻の雨が「いつ以来の規模になっているか」を表す（詳細は、小杉，砂防学会誌，75(1)，3-14，2022 を参照のこと）
- 4) 半減期0.1~1500hの51種類の実効雨量を組み合わせ、合計1326通りのスネーク曲線図で解析
- 5) 出典：土砂災害警戒情報データベース <http://agora.ex.nii.ac.jp/cps/weather/mudslides/>
- 6) 1976年6月1日（耳納山の雨量観測記録の開始日）から2023年7月6日までの期間
- 7) 出典：テレビ西日本（Yahoo!ニュース）  
<https://news.yahoo.co.jp/articles/a67ccce45ba3c34182e23b3b32d3469b2a2abbce>

※ ウェブサイトのアクセス日は、いずれも2023年7月10日



本稿は未経験降雨指数の試算結果を速報的にまとめたものであり、記載した内容については今後修正する可能性があります。